

一下諏訪町御柱祭実行委員会が解散しましたー 心温まる賛助金に心より感謝申し上げます!

平成22年下諏訪町御柱祭実行委員会会計収入支出決算報告書
【収入】 (単位:円)

科目	収入金額	内容
補助金	補助金 18,000,000	下諏訪観光協会から
賛助金	一般賛助金 7,293,000	6,112世帯からの協力
	特別賛助金 10,396,500	443事業所からの協力
観覧席収入	観覧席収入 33,103,875	観覧席31,202,400円、スポンサー広告
駐車場収入	駐車場収入 8,108,751	山出し6,769台 里曳き4,366台
シャトルバス運行収入	シャトルバス運行収入 2,294,380	22,943人の利用
雑収入	雑収入 2,242,417	諏訪大社負担金、施設設置負担金など
合計	81,438,923	

【支出】 (単位:円)

科目	支出金額	内容
(1) 総務部会費	5,603,631	
消耗品費	101,787	事務用消耗品
賃金	197,580	臨時職員賃金
事業費	5,304,264	募金関係費、本部設置費、保険料など
(2) 誘客情報部会事業費	812,756	案内チラシ、誘客ツールの作成費など
(3) 行事催物部会事業費	7,687,436	催物参加団体補助金など
(4) 観覧席部会事業費	32,999,107	観覧席設置、観覧席券販売関係費など
(5) 交通駐車場部会事業費	11,287,580	交通規制図、シャトルバス運行費など
(6) 施設部会事業費	16,373,795	トイレ設置、大型スクリーン設置費など
(7) 清掃部会事業費	1,586,222	ゴミ収集コンテナ設置、清掃関係費など
(8) 警備部会事業費	1,181,149	危険箇所の安全対策、警備本部設置費等
(9) 救護部会事業費	632,152	救護用品、救護所設置費など
(10) 祝売・ブランド化部会事業費	100,000	御柱物産館運営費など
(11) 曳行部会事業費	423,850	曳行路安全対策費など
(12) 諸支出	2,751,245	下諏訪観光協会への交付金
合計	81,438,923	

「山出し・里曳き」に約99万人が来町!



●問い合わせ先 町役場27-1111 産業振興課 商工観光係 (内線) 271

総会で事業報告を承認、決算を認定

10月29日に行われた下諏訪町御柱祭実行委員会事業報告の承認、また決算の認定をいただき、所期の目的を達成したとして町実行委員会の解散が可決されました。町実行委員会では、7年に1度の天下の大祭「御柱祭」を住民最大のレクリエーションの場として位置づけながら地域の皆さんが安全で楽しく祭りに参加いただけるよう受入れ態勢の整備を進めながら地域の活性化を図ってまいりました。

下社関係につきましては山出し、里曳き合わせて約98万5千人という多くの皆さんが町を訪れ、壮大な祭りを楽しんでいただきました。特に里曳きの催し物パレードには延べ70団体2千人を超える住民参加の中で太鼓、長持、神輿、踊り、騎馬行列などが繰り広げられ、多くの子ども達の参加と共に華やかな催物絵巻が展開できました。事業推進にあたっては特に前回の課題・反省を踏まえ、新たに観覧席部会を加えた11部会で警備、救護、情報の一元化、行事催物の企画運営、トイレ設置、交通対策など民公協働で多くの事業に取り組みましたが、人出の分散化や催物パレードの日程などの反省事項や寄せられた多くのご意見は次回への課題として対応してまいります。

厳しい経済情勢の中で実行委員会の趣旨にご理解をいただき、町民の皆さまや企業各社から貴重なご賛助を賜りましたことに感謝申し上げます。決算のご報告をいたします。なお、諸支出は実行委員会の解散を踏まえ、繰越金をつくらないこと及び会則の目的に唱われている「祭前後も観光客の誘致を図り地域の活性化を図る」という趣旨に照らし、御柱ブランドを活用しながら観光振興の受け皿として観光協会にその任を委ねてもらうために、実行委員会事業の残額相当分を下諏訪観光協会へ交付金として支出し、収入・支出とも同額となっています。ご協力ありがとうございました。

中・高生参加の「しもすわ未来議会」を開催!

～若者の声を町政に～

進化するしもすわ町の動き

若い視点で提案や要望が...

「幅広い層からの意見を町政に活かそう」と子ども達が参加する模擬議会は、いままで平成十一年に小学生を、十二年に中学生を対象に行って以来、昨年九年ぶりに中学生を対象として「しもすわ未来議会」として開催。今回は昨年を引き続いて第二回目の開催となりました。議員となった九人の中高生は若者の視点から、これからのまちづくりに向けた意見や提案を思い思い熱く町側にぶつけました。

中学生議員からは、「通学路の安全確保から「歩道に白線の設置を」、また御田町や駅前等のシャッター通りの活性化対策などの身近な問題をはじめ、町の食の活性化策として「B-1グランプリにウナギ太巻きを出展しては」とのアイデアや温泉施設の充実に向けた提案などがありました。

高校生議員からは、「ものづくりの町にふさわしい科学と触れあう場を提供し」「町の地域産業の振興」を、またジョギングロードの一層の整備のほか赤砂崎用地の防災公園化に向けては、オートキャンプ場や足湯、親水場の設置など具体的なアイデアも質問としてありました。



町は11月11日(木)、町内の中高生9人が議員となり、町長はじめ町当局に若者の視点から提案や疑問点を質疑する模擬議会「2010 しもすわ未来議会」を昨年に引き続き町議会議場で開催しました。未来議会議員には、下諏訪向陽高校、下諏訪中学校、社中学校の各校から3人の計9人の中高生が参加。町側からは町長、副町長、教育長、全課長が出席。山田町議会議長を進行役に、1人10分間の持ち時間で質問しました。

- 議員の皆さんは次のとおり
- ▽下諏訪中学校 宮下太希 菊嶋勇樹 黒田真衣
- ▽社中学校 大原実姫 小林拓海 小松瑞季
- ▽向陽高校 安藤奨平 名取竜兵 甲斐麻衣子

これに対し青木町長は「一つひとつ丁寧な答弁。防災公園化に大きく前進する赤砂用地の有効活用について「町の温泉は大きな足湯を設置できるほど潤沢ではないが、隣接する諏訪湖畔や砥川を含めた水に親しめる環境整備を進めたい。オートキャンプ場については、どの様に公園広場を活用できるか出来るだけ多くの皆さんから意見を聞きながら有効活用を検討したい」と答えました。また食の産業活性化として「ウナギ太巻き」出展の提案についても、町長は「素晴らしいアイデアだと思っ。いろいろ提案を多くの町民の皆さんからぜひ出してほしい」と呼びかけました。未来議会の様子は町庁舎四階講堂や一階ロビーでも映像付きで放送され、人数の都合で傍聴できない社・下中の生徒をはじめ多くの町民の皆さんが熱心に視聴していました。



町長がていねいに答弁



議会終了後はなごやかに握手

中高生議員に認定書を授与

●しもすわ未来議会結団式行われる

しもすわ未来議会の開催に先立ち、十一月一日(月)、議会の結団式が行われ九人の議員に町長から認定書が授与されました。町長はこの議会について「若い発想が町をつくる原動力になる。限られた時間だが町を背負う意識を持って、あまり緊張せずに頑張ってください」と期待を述べました。議員を代表して、下中三年の宮下太希君が「貴重な時間をいただき感謝します。僕たちの願いと意見を十二分に提案したい」と代表あいさつがありました。その後議席と質問順を決める議席抽選が行われ、緊張の中くじをひいていました。場所を本会議場に移し、席の確認や質問席でのやり方など本番さながらのリハーサルが行われ、持ち時間の中でどのようにして意見や提言ができるのか生徒たちは気持ち新たに、本会議場に向け胸をときめかしていました。



ドキドキしながら議席順のくじを引く



議場の質問席で緊張のリハーサル